

# 緩歩



「道徳観」「道徳教育」「道徳心」、「道徳」とは、最近よく新聞・ニュース等で見聞きする言葉です。道徳とは様々な意味を持つ言葉ですが、Wikipediaによれば、「人間が無意識の内に世の中に存在するものと認識している正邪・善悪の規範」と記されています。昨今、現代社会では青少年に留まらず、大人たちも道徳が欠如していると報道されることが多いような気がします。

本年度、曹洞宗静岡県第一宗務所青年会は、東海管区曹洞宗青年会大会、通称「大大会」の主幹という担いを頂き、東海管区曹青がここ静岡県第

## かんぽ — 第10号 —

【題字】  
洞慶院 丹羽鐵山 老師

一宗務所管内に集結  
致します。各地より  
お招きし当会の活動  
成果を発表するため、  
全会員が一つとなり  
OMOTENASHI  
の心を持って臨まね

ばならないと考えます。

青年会は、四十歳までの限られた時間の中で一人の青年として、一人の僧侶として一番成長する時期です。未だ見ぬ未来を形成する時期だと考えます。一人ひとりが様々なことにチャレンジし、失敗を恐れない気持ちで自己の探求心を仰ぎ、更なる飛躍となり何物にも変え難い経験を築くことが出来るのです。またそこで培った経験を寺坊や檀信徒に、ひいては地域住民に還元していかなくてはなりません。

結びに、管内ご寺院様におかれましては、日頃より青年会活動にご指導ご協力を賜り誠にありがとうございます。当会の活動は決して完璧に行われる活動とは言えないでしょう。しかしながら、失敗を恐れず果敢に時代を駆け抜ける青年僧侶の活動にご理解頂き、これからもより一層のご指導ご鞭撻を賜るようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

合 掌



# 二十六年度 活動報告

## ■花祭り

毎年四月八日は花まつり。お釈迦様の誕生日です。

沼津ではバラ、チューリップ、静岡では花の種と植木鉢セット、藤枝・焼津では花配りと、花御堂誕生仏へ灌仏をされた皆さんに甘茶を振る舞い、各地で花まつり伝道を行いました。

## ■第二十二回定例総会

四月十日、第二十二回定例総会を静岡グランドホテル中島屋にて開催致しました。

今年は、当青年会創立二十周年の節目に当たり、開会に先立ちOBの諸老師と共に青年会卒会員物故者追悼法要を行いました。

法要後、総会にて各議案が慎重審理され全て承認されました。

## ■静岡県第一宗務所主催

### 春季スポーツ親睦会

六月五日に第六十八回スポーツ親睦会を開催。

会場に由比体育館をお借りしてバ

ルーンバレーボールで親睦を深めました。優勝は、中部OBチームでした。

## ■研修会

### 「枕経の在り方について考える」

六月二十三日、焼津市の林叟院様に藤枝市十輪寺御住職柴田芳憲老師を講師にお迎えし、枕経についての講義を頂きました。

講義の後は、実際の現場を想定してロールプレイを行い、意見交換をしました。

## ■東海管区

### 曹洞宗青年会連絡協議会

九月十日、静岡グランドホテル中島屋にて開催された連絡協議会は、まず、ソプラノ歌手の大道和世氏(おみちのよ)によるボイストレーニングが講演され、体や顔の筋肉をほぐす体操、腹式呼吸、発音トレーニングを行いました。

引き続き行われた協議会では、来賓として櫻井尚孝全曹青会長が、また東海曹青会長として本会会員吉岡博瑞師が挨拶をした後、管区内の各曹青よりの報告が行われました。



定例総会「青年会卒会員物故者追悼法要」



花配り (志太地区)



東海管区曹洞宗青年会連絡協議会「ボイストレーニング」



研修会「枕経の在り方について考える」



### ■宗務所主催檀信徒大会

九月十七日には静岡市民文化会館において曹洞宗静岡県第一宗務所主催の檀信徒大会が開催されました。式典では、椅子坐禅の指導や僧侶約七十名による法要が行われ、実行委員長 服部秀世老師の大会挨拶の後、「いまを生きる力」と題し、作家の五木寛之氏の記念講演がありました。会員は、法要、受付、誘導等に分かれて大会の運営に係りました。

### ■臨時総会

今年度で現執行部が任期満了となるため、次期会長並びに副会長を選出するため十月二十八日に臨時総会がソーサレアホール田町にて開催されました。審議の結果、磯田辰哉師を新会長に、市川輝博師、横井健靖師の両師を副会長に選出し、承認されました。

### ■平和祈念托鉢

毎年恒例の十一月十一日の平和祈念托鉢が午前中、静岡市の青葉シンボルロードや静岡駅前北口地下広場にて行われました。浄財（三一、一四七円）は、SVA（シャンティボランティア会）の緊急救援募金へ寄付しました。

### ■歳末助け合い托鉢

島田駅・焼津駅地区では十二月四日に両駅周辺で行われ、浄財二五、三六二円（島田一三、七二四円、焼津一一、六三八円）は各地区社会福祉協議会を通して歳末助け合い募金に寄付致しました。

静岡駅周辺地区では、十二月四日に行われ三四、五九五円をSBS愛の都市訪問に寄付致しました。

沼津駅周辺地区では、十二月十五日に行い三三、三八六円を沼津市社会福祉協議会経由で歳末助け合い募金に寄付致しました。

### ■献血活動

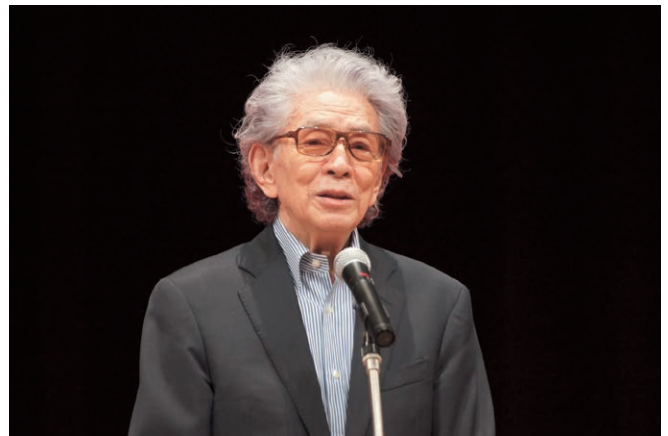
一月十二日にセントラルスクエア静岡にて献血と呼びかけ運動を行いました。午前九時三十分から活動の確認指導を受け、午後四時頃まで行いました。六十二名の方から献血していただきました。

### ■安居予定者研修会

一月十二日・二月八日、まもなく上山を予定している安居予定者に対して、泉秀寺様を会場として上山用品一式の確認や威儀・進退等、修行の助けになるよう研修致しました。



平和祈念托鉢



檀信徒大会（宗務所主催）「五木寛之氏記念講演」



献血と呼びかけ運動



歳末助け合い托鉢





第10回

# 静岡県内曹洞宗青年会スポーツ大会

曹洞宗静岡県第一宗務所青年会 創立二十周年記念大会 併催

2014.3.25



平成二十六年三月二十五日正午から、静岡県草薙運動場体育館において、第十回静岡県内曹洞宗青年会スポーツ大会(曹洞宗静岡県第一宗務所青年会創立二十周年記念大会併催)が行われました。玉入れや大玉転がし、仮装リレーなど、運動会をして汗を流し、親睦を深めました。また、曹洞宗静岡県第一宗務所青年会 創立二十周年を迎えるにあたり、県内青年会の皆様をお招きして、懇親会を行いました。





# 二十六年度 ボランティア活動報告 (東日本大震災被災者支援)

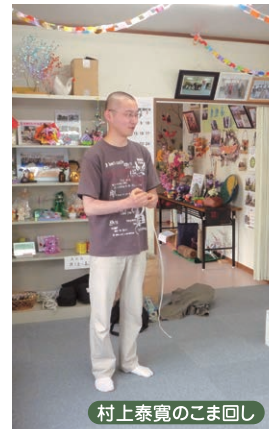
## 平成二十六年

● 四月十六日：山元町テラセン付近の空き地にてアスレチック制作。  
 ● 十七日：石巻市高源院にて行茶、傾聴。大川小学校石碑にて読経。  
 ● 第四十班 前島慎司・小川善広・澤田俊憲・高橋英明・水野将之  
 ● 五月二十八日：山元町テラセン付近の空き地にてアスレチック制作。  
 ● 二十七日：二本松市平石小学校仮設住宅にて行茶、傾聴、ピースブレスレット制作。  
 ● 第四十一班 前島慎司・青木隆徳・浅井康博・村上泰寛  
 ● 六月十八日：山元町テラセン付近の空き地にてアスレチック制作。  
 ● 十九日：福島県相馬市新林仮設住宅にて行茶、傾聴、紙芝居。



傾聴「二本松市」

● 第四十二班 前島慎司・熊山昭徳・杉山瑛典・関泰玄



村上泰寛のごま回し

● 七月二十八日：山元町テラセン付近にてアスレチック制作(ペンキ塗り)。  
 ● 二十九日：山元町テラセン付近にてアスレチック制作(ペンキ塗り)。  
 ● 第四十三班 小川善広・前島慎司・関泰玄  
 ● 八月二十五日：山元町テラセン付近にてアスレチック制作(ペンキ塗り)・完成。  
 ● 第四十四班 前島慎司・小川善広・齋賀宝道  
 ● 九月十八日：山元町テラセン付近にて井戸掘り。  
 ● 十九日：福島県しのぶ台仮設住宅にて行茶、傾聴。  
 ● 第四十五班 前島慎司・久保寺隆幸・伊久美一也  
 ● 十月二十二日：山元町テラセン付近にて、井戸掘り。  
 ● 二十三日：青巢稲荷神社再建。アスレチック看板設置。地元ラジオ局からの取材。  
 ● 第四十六班 前島慎司・伊藤和貴・伊藤宗満・木南全峰

● 十一月四日：青巢神社にて、井戸掘り、鐘楼屋根の塗装。  
 ● 五日：じいたんどーむの結露防止策。  
 ● 第四十七班 前島慎司・増田美源・青島永紘・杉山瑛典

● 十二月十日：青巢稲荷神社にて社務所建築の手伝い。  
 ● 十一日：亘理町西木倉災害公営住宅にて行茶、傾聴、ピースブレスレット制作。  
 ● 第四十八班 前島慎司・翠智道・杉山大輝



伊久美一也のギター演奏

## 平成二十七年

● 一月二十七日：みんなの図書館敷地内施設の雨・風を凌ぐ為の屋根・横板張り。  
 ● 二十八日：みんなの図書館敷地内施設の雨・風を凌ぐ為の屋根・横板張り。青巢稲荷神社で使用する



完成したアスレチック

ための丸太運び。  
 ● 第四十九班 前島慎司・横井健靖・齋賀宝道・山本俊介  
 ● 二月九日：みんなの図書館敷地内施設の雨・風を凌ぐ為の屋根・横板張り。  
 ● 十日：福島市保健福祉センターにて福島曹青と共に写仏、傾聴。  
 ● 第五十班 前島慎司・松本一美・伊藤源宗・三浦信了・糸柳格彰  
 ● 二月十七日：みんなの図書館敷地内施設の雨・風を凌ぐ為の屋根・横板張り。  
 ● 十八日：福島市内仮設住宅にてマジック、傾聴。  
 ● 第五十一班 前島慎司・小島健布・吉岡博瑞・小沢昌樹

# 梅花観音霊場めぐり【西部①】

藤枝市内の  
梅花観音霊場をご紹介します。

第八十番

祝融山

## 万松院

松山は  
瑠璃と観世の  
おわす寺  
葉とともに  
利益平等



岡部町  
子持坂

第八十一番

谷川山

## 梅林院

寂かなる  
谷川の山の  
ほととぎす  
木々に向かいて  
法を説くかな



岡部町  
桂島

第八十二番

九峯山

## 総善寺

緑濃き  
玉露の里に  
み仏の  
尊き光  
永遠にそそがん



岡部町  
殿

第八十三番

宝樹山

## 磐脚院

現世の  
なだりを上る  
磐脚の  
梅花菩薩の  
光明溢るる



藤枝市  
西方

第八十四番

石龍山

## 灌溪寺

峰の色  
法の深きを  
頂きて  
こけの溪間に  
宿る光よ



藤枝市  
中ノ合

第八十五番

修福山

## 利勝院

修福の  
鐘の音ひびく  
藪田富士  
参る人の  
心清らか



藤枝市  
上藪田

第八十六番

日照山

## 耕春院

み仏の  
光あまねき  
廣幡の  
春を耕す  
み寺なりけり



藤枝市  
八幡

第八十七番

池巖山

## 全居寺

こまとめて  
ゆききにおがむ  
やまのどう  
こころなごまん  
ふかきちかいに



藤枝市  
水守

第八十八番

雲掃山

## 光明寺

法の道  
すえ平島の  
光明寺  
光をさして  
めぐる月影



藤枝市  
平島

第八十九番

龍池山

## 洞雲寺

伝えきて  
盛ゆる法の  
洞雲寺  
いよよ光は  
新たなりけり



藤枝市  
藤枝

第九十番

大雄山

## 宗乗寺

宗乗の  
歴史を見つめる  
梅花尊  
響き妙なる  
松風の音



藤枝市  
小石川町

第九十一番

金龍山

## 心岳寺

金龍の  
山の麓の  
谷稲葉の  
み寺にひびく  
鉦の音清し



藤枝市  
谷稲葉



# 新執行部紹介

新執行部メンバーの紹介です。これから二年間よろしくお願い致します



副会長  
市川輝博

「光陰惜しむべし、時人待たず」。任されました二年間、全力を尽くしてまいります。



副会長  
横井健靖

磯田会長を補佐し、会の発展の為に尽力いたします。



監事  
景浦道一

微力ではありますが、青年会の円滑な運営が行えるよう全力を尽くします。



監事  
松本好寛

会の為に微力ですが、尽くしたいと思えます。



東部理事  
今枝真一

理事として、特に担当地域と執行部間をよく繋げるよう努めます。



東部理事  
岩佐剛昇

及ばずながら、できることひとつひとつ、努めさせていただきます。



中部理事  
伊藤晋英

只の連絡役とならぬ様、戯論に落ちいらぬ様、頑張ります。



中部理事  
阿部孝悦

青年会の力添えとなるよう、努めさせていただきます。



西部理事  
杉山隆元

二年間よろしくお願い致します。



西部理事  
長尾大乘

理事として精一杯努めさせていただきます。



事務局長  
西村隆昌

微力ではありますが、任を全うできるよう努めて参ります。



会計  
磯田和明

経験は浅いですが、最大限の為に尽力し、任を全うする所存です。



教化研修委員長  
松本揚裕

青年僧として新しい視野を持った活動をして行きたいと思えます。二年間よろしくお願い致します。



ボランティア委員長  
糸柳格彰

会員のボランティア精神の更なる向上を目指し、任に尽力を注ぎます。



広報委員長  
増田美源

頂戴した任を責任を持って全うしたいという思いです。



大会実行委員長  
柴田英憲

当曹青から発信する大会として、会員全員で創造する大会にしたいです。



庶務  
梅貝泰文

静岡県第一宗務所青年会の発展のため全身全霊をもって努力いたします。



書記  
小金山宗純

微力ながら青年会のお役に立てるように努めていきます。



書記  
前島勇哉

微力ではありますが、お役にたてるよう尽力させていただきます。



書記  
稲葉俊隆

地道に、着実に、気配りを忘れず精進していきたいです。

### 卒会者紹介

●二教区 秀道院 都築義晃師

●三教区 南叟寺 祖父江正寛師

●四教区 大慈院 野原全州師

●六教区 光明寺 松岡広也師

●六教区 玉泉寺 温湯康二師

●六教区 大泉寺 小島健布師

●七教区 保泉寺 翠 智道師

●八教区 笈沢寺 鈴木俊呉師

●十教区 東泉寺 寺澤孝道師

●十五教区 良富院 水野有高師

●十五教区 増福寺 澤田俊憲師

長い間お疲れ様でした。これから  
もご指導よろしくお願い致します。

### 新入会員紹介

●六教区 霊山寺 山田高之師

●十四教区 松雲寺 満目尚樹師

よろしくお願い致します。  
これからの活躍を期待します。

### 編集後記

禅語に「見聞覚知」というのがあ  
ります。見たり聞いたり考えたり  
知ったりすることによって仏法の理  
を体得すると言う意味ですが、やは  
りいろんな経験をして学んで行くこ  
とが大事なのだということでしょう。  
広報委員長になって二年間。そ  
れ以前は挨拶程度でほとんどゆっ  
くり話をしたことのない方々とも  
親交を深められたことで、新たな  
気づきと多くの学びを得ることが  
できました。

平和祈念や歳末助け合いの托鉢、  
クリスマス前で賑わう街中でのこと  
浄財を握りしめて近寄ってくる子ど  
もを前に、すーっと冷たいタイルに  
膝をつき、「ありがとう」とニコニ  
コしながらそれを頂く青年僧。

震災の地に毎月赴いて、泥だらけ  
になりながら「子どもたちのために」  
と、木の丸太を使った遊具を作って  
いた前島ボランティア委員長。虹色  
に塗られ完成したそのアスレチック  
の中で、喜んでる前島さんの笑顔  
がとても印象的で、心打たれました。  
また、そうした活動の次の日、疲れ

ている体を奮い立たせ、被災した方々  
の声を大切に受け止めている傾聴活  
動を見ていて、これが本来の僧侶と  
してのあるべき姿なのだと只々低頭  
の思いでした。

こうした青年僧一人ひとりを取材  
していくうちに、仏性の一つひとつ  
をいただいている、そんな感覚になっ  
てきました。それは、彼らが行う研  
修会やボランティア活動の中に仏性  
が必ず内在し、またそれを自分以外  
の人へ伝えなければ、届けなければ  
という思いや願いがあることを痛感  
したからです。

観音様の「観音」という文字。「観」  
は、じっくりしっかりと見るとい  
意味。また「音」もそれと同じく、  
じっくりしっかりと聴くという事。  
観音様ほどには到底いきませんが、  
今回、できる限り自分の五感を研ぎ  
澄まして、青年会活動を眺めている  
と、汚泥から咲く蓮のように、この  
混沌とした現代社会の中で、一人  
も多くの人々を救わんとする僧侶の  
あるべき姿を毎回発見し、それに手  
を合わせるような思いで取材をして  
いたような気がします。  
そんな貴重な体験ができたことに  
感謝すると共に、拙い広報委員長を  
支えて下さった皆々様に御礼申し上  
げます。

### 賛助御礼

- 3-77 龍泉院様      ● 4-109 玉泉寺様
- 5-126 一乗寺様      ● 8-391 十輪寺様
- 13-571 法運寺様      ● 14-26 宝珠院様
- 14-30 福泉寺様      ● 15-95 久應院様

青年会の活動に多大なるご支援  
ありがとうございました。

### 青年会一同九拝

#### 編集委員

- 小島 健布      ● 寺澤 孝道      ● 古市 太郎
- 古川 義典      ● 大賀 泰隆      ● 伊久美一也
- 吉岡 見純      ● 景浦 道一      ● 関 隆博
- 湯川 雄斗      ● 満目 大善      ● 今枝 真一
- 岡田 一樹      ● 岩佐 剛昇      ● 青木 秀晃
- 小金山宗純      ● 村上 泰寛      ● 木南 全峰

#### 発行

曹洞宗  
静岡県第一宗務所青年会

#### 事務局

藤枝市高柳2-4-44  
養源院内

#### 発行責任者

磯田辰哉

#### 編集

曹洞宗静岡県第一宗務所  
青年会広報委員会